

指定廃棄物処分場対策班だより

表面

第4号

平成27年1月27日発行

小里環境副大臣の 来町に関してのやりとり

主な経過

1月16日（金）、環境省からの町の質問書への回答の中で、必要面積不足の疑問への回答に関して、その解決の意味で副大臣から現地確認の提案があり、町にも立会いをお願いしたいとのこと、町長が一度は同意しました。

このことは、7月30日の選定以来、昼夜を問わずご苦労されている町民を思い、要件が満たさなければ選定取消しに繋がります、みな様の負担を解消できるのではと考へてのことでありました。

その後、役場前庭に参集いただいた方への説明の際や、その後に、町民の方から様々な意見をいただきました。

【主な意見】

- 環境省は常識では考えられない数々の都合よい解釈があり、面積要件を満たさなくても選定は撤回されない。
- 詳細調査を実施できればどんな不適な条件であっても建設可能にしてしまう回答への不安。
- 白紙撤回を進める中で環境省の対応で築かれた溝が埋まらない中で現地に入られる嫌悪感。等々

これらの意見が多く寄せられた中で、町民の意見を最大限尊重して活かしていくという町長の政治姿勢から考え抜いた結果、1月19日（月）に環境省に赴き、発言の撤回をしたところです。

しかし、環境省は町職員の立合いの撤回と都合よく解釈し、ことを進めようとしているのです。

その中で、取材を受けた町長がみな様にとっていただきたらう姿勢を想定して発してしまっただけのことにより先日の新聞での「阻止する」記事に至ったところです。

町長からみな様へのお詫び

この度の経過の中で、町長自身の発言に関して、大変軽率な節がありました。

町長から、謹んでお詫び申し上げます。

【反省内容】

- 面積確認の提案にその場（ぶら下がり取材）で同意に応じてしまったこと。（みな様の負担を軽減できると考へたことではあつたものの、様々な状況の熟慮に甘かつた。）

- 反対運動、今回での阻止活動は住民組織である塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会で行われるものであり、週末から週明けが混乱していたといえども、発言は慎重に行うべきであつたこと。（同盟会への具体的な相談もなく町長が口にしてしまった。）

今後は反対同盟会にも相談することや情報共有、意思疎通を図るよう努めてまいります。

今後の町の行く末を左右する重大なことでありますので、今後とも多大なるご協力をお願いいたします。

知っておきたい 指定廃棄物への基礎知識

指定廃棄物とは？

通常の廃棄物に事故由来放射性物質が付着した廃棄物で1キログラムあたり8千ベクレルから10万ベクレル程度のものです。

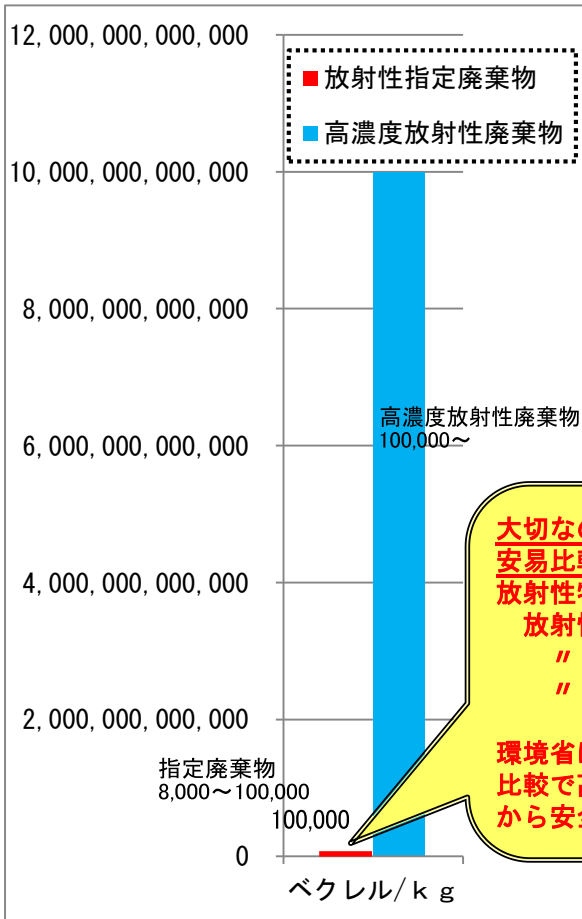
原子力施設で発生する高濃度放射性廃棄物の放射能濃度と比べ、はるかに小さいとはいいますが、例えば飲料水の安全基準が放射性セシウムは10ベクレルであり、自然環境汚染や健康被害への影響を考えると決して楽観できません。

国の安全性への説明責任が不足し、低レベルの放射能汚染の絶対安全基準が不明瞭な中で危険にさらされているのです。

また、減容化（処理施設に入れる量を減らし、性状を安定なものとするために焼却処理すること）を行うと濃縮し、10万ベクレルを超える

場合もあり、一層危険が増します。

環境省が新聞に多額の国費を投入して掲載した記事で、高濃度放射性廃棄物と放射性指定廃棄物の比較は誤解を招きやすいものであり、1億分の1、100万分の1と大変低い濃度と言っていますが、**大切なのは果たして何ベクレル以上が健康上での害があるかなのです。**



大切なのは健康被害等へ影響濃度であり、安易比較に大きな問題があります。

放射性物質の安全基準はいくつなの？

放射性ヨウ素 131 300 ベクレル

セシウム 134 10 ベクレル

セシウム 137 10 ベクレル

※134 と 137 の合計

環境省は、過日の新聞への掲載記事で濃度比較で高濃度放射性廃棄物よりかなり低いから安全と過度に強調しています。

知ってほしい 指定廃棄物への基礎知識

ベクレル・シーベルトとは？

【ベクレル】
放射能の量を表す単位です。1ベクレルとは、1秒間に1個の原子核が崩壊して放射線を放つ放射線の量となります。例えると毎秒500個の場合が500ベクレルとなる訳です。

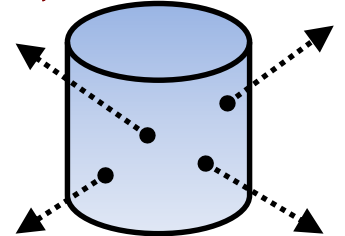
放射能とは放射線を発する能力のことですが、その能力を表すのがベクレル、人体が直接受ける放射線を表すのがシーベルトなのです。ベクレルは主に食品や水・土壌の中に含まれる放射能の総量を表す場合に「1キログラムあたり100ベクレル」の様な形で使います。

【シーベルト】
シーベルトとは、外部被曝や内部被曝で実際に人体が影響を受ける線量を表す単位です。「1時間あたり1ミリシーベルト」の様な形で使います。

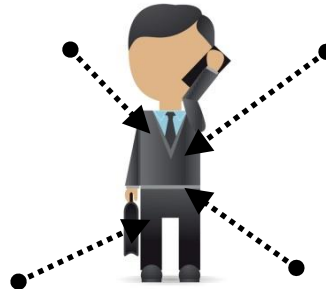
この単位は、外部被曝のときにも、内部被曝のときにも用いられます。ベクレルとシーベルトの違いは、ベクレルが本質的な量を表すのに対して、シーベルトは人体に影響のある数値を表すと考えるとわかりやすいでしょう。

放射性物質は、自然界にもともと存在し、呼吸や食事などの日常生活を通じて放射性物質による影響を少しは受けています。その影響は、世界平均で年間約2.4ミリシーベルトです。

物質から発する放射線の量 = ベクレル



吸収される放射線の影響 = シーベルト



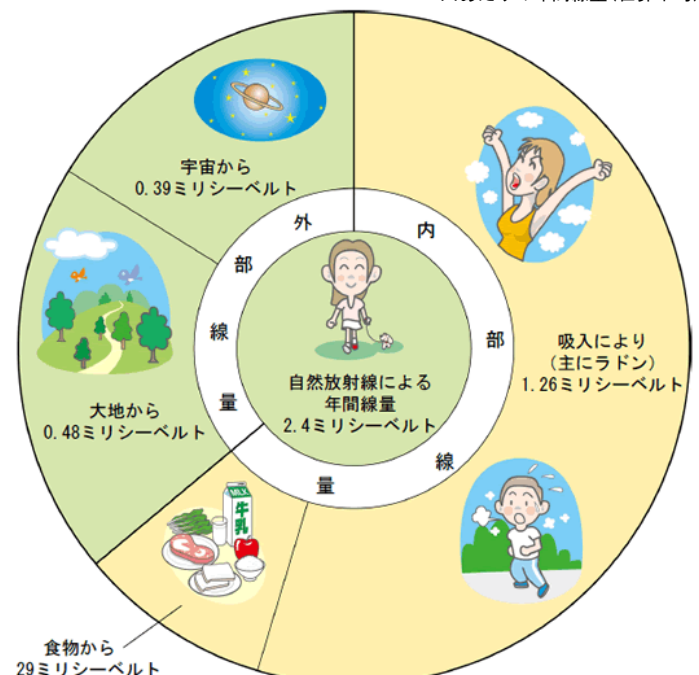
食品に係る暫定基準値は？

福島第一原発事故後に設定された食品に係る国内の暫定基準値ですが、当初は、穀類・野菜類・肉・卵・魚が500ベクレル、飲料水・牛乳が200ベクレルでした。

その後、平成24年4月から新たな基準値が定められ、一般食品(穀類・野菜類・肉・卵・魚)100ベクレル、牛乳50ベクレル、飲料水10ベクレルのほか、新たに乳幼児食品として50ベクレルの基準値が設定されました。

しかし、食品に含まれる放射性物質の量は、何ベクレル以上なら危険で何ベクレル以下なら安全かというのには専門家の間でも様々な意見があり一概には答えられません。

一人あたりの年間線量(世界平均)



放射性セシウムの新基準値

平成24年4月1日から1kgあたり

- 一般食品 100 ベクレル
- 乳幼児食品 50 ベクレル
- 牛乳 50 ベクレル
- 飲料水 10 ベクレル

参考とするならば、基準を上回っていただければ間違いなく健康への影響を心配すべきでしょう。以上のことから考えても、放射性指定廃棄物は1キログラムあたり8千ベクレルから10万ベクレル程度のものであり、その最終処分場が自然豊かな高原山の中腹に作られようとしているのです。

塩谷町民指定廃棄物最終処分場反対同盟会からのお知らせ

行政区长等の充て職で同盟会へ協力いただいている方で今年度末に任期終了となる方は、組織力低下を招かないようボランティアスタッフとして継続して協力いただくことを前向きにお考えください。時々、事務所に来てのお手伝いや、行政区内への働きかけの支援(同盟会活動に係る区長の補助)を考えています。

詳しくは、同盟会事務局
塩谷町大字原萩野目 148 番地
電話 0287-48-6230 まで